

## 第 2 期富山県教育大綱（案）に対するアドバイザーの主な意見の概要について

## 1 アドバイザー

池田まさみ 氏（十文字学園女子大学人間生活学部教授）

牧野 篤 氏（東京大学大学院教育学研究科教授）

無藤 隆 氏（白梅学園大学 名誉教授）

## 2 主な意見の概要及び対応状況

番号	項目	意見の概要	対応状況
1	大綱全般	成果指標がいろいろと出ているが、どういう成果を期待しているかを文章として述べたらどうか。その上で、その数量的に評価可能なところについてどういうテスト・検査・アンケートがあり得るかを示し、可能なところで具体的な数値を示してはどうか。	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  教育振興基本計画では、参考指標（基本施策の目標を具体的にイメージするための参考となる指標）を設定することとしている。
2	基本方針 2 方向性①	「個別最適な学び」とは具体的にどのような形と施策で実現に向けていくのか。  その他、基本方向は別なところで具体化されているか。	<u>大綱（案）に記載（P11）</u>  「児童生徒一人一台端末の環境を活かして、一人ひとりの能力や特性に応じた個別最適な学びや子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び、課題を発見し解決する学びを推進します。」  <u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>
3	基本方針 2 方向性②	G I G Aスクールの具体的なあり方はどうか。その他も抽象的にはもっともなことが述べられているので、そこを具体化したらどうか。	<u>大綱（案）に記載（P12）</u>  「G I G Aスクール構想の実現に向けて、児童生徒一人一台端末の環境を活かして個別最適な学びと協働的な学びを推進し、資質・能力が確実に育成できるよう I C Tを活用した教育の充実が求められています。」  <u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>

番号	項目	意見の概要	対応状況
4	基本方針2 方向性③	2030年には就業構造が大きく変化しており、これまでや今日の就労状況を踏まえて子どもたちのキャリアを考えることが困難な時代に立ち至っており、子どもたち自身が自らの人生を設計し、作り出し、変革する力を身につけることが求められている。	<u>大綱（案）に記載（P15）</u>  「子どもたちが将来就くことになる職業の在り方が、技術革新等により大きく変化している中、子どもたち自身が自らの人生を設計し、作り出し、変革する力を身につけることが求められています。」
5	基本方針2 方向性③	人々が自律的に学びをとらえ、自らの人生の中に組み込んで、納得のいく人生を送ることができるよう支援することが、行政的な役割となるのである。この社会を生きるために、生涯にわたって学び続ける力の基礎を育成する場所が、学校なのだといえる。	<u>大綱（案）に記載（P15）</u>  「人生 100 年時代 において、子どもたちの学びは幼稚園から高等学校段階で完結するものではなく、生涯にわたって学び続ける力の基礎を育成することが求められています。」
6	基本方針2 方向性③	求められるのは、子どもたち自身が他者とともに、自らが人生を設計し、作り、それを修正し続けながら、新たな自分を生み出し続けることができるような条件を整備し、彼らにその力の基礎を養うことであるといえる。	<u>大綱（案）に記載（P15）</u>  「将来の夢や目標を持って、自分の人生を設計し、他者と協働しながら、自らの人生を主体的に切り拓いていく力やチャレンジする精神、生涯にわたり学び続けるための基礎となる力を育みます。」
7	基本方針2 方向性④	グローバル化には、英語以外に、他の言語、他の文化、多様な日本社会の中のあり方、SDG s などグローバルな問題への理解とそこへの貢献への意志を育てることが必要である。	<u>大綱（案）に記載（P18）</u>  「グローバル化によって、地域が直接多様な言語、文化、人々を有する世界とつながる時代になったことにより、SDG s などグローバルな視点を持って豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする志を持った人材の育成が重要となっています。」

番号	項目	意見の概要	対応状況
8	基本方針3 方向性①	子どもたち一人ひとりがかげがえのない存在であることを認めあう関係をつくること、その時の前提は「違っていること」であり、違いを相互に認めあうことで、受け入れ合うこと、つまりダイバーシティとインクルージョンであること、そしてそこから一人ひとりの子どもが自らにとって最適な学習環境を整備されることが重要である。	<u>大綱（案）に記載（P23）</u>  「子どもたち一人ひとりがかげがえのない存在として尊重し、子どもたちの多様化に対応した個別最適な学びを実現できるよう学校の多様性と包摂性を高めることが求められています。」
9	基本方針3 方向性②	不登校等の減少のためには、幼児教育また幼小・小中の接続などを通して「登校渋り」を幼児期さらに小学校低学年から減らすことが重要であり、具体的な取組みが必要。	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の推進については、『わくわく・きときと』接続ガイド』の活用、「幼児教育・小学校教育接続モデル校区」の指定、地区別幼児教育・小学校教育接続研修会の内容の充実等に取り組んでいる。 小中学校の円滑な接続については、小中連携型のスクールカウンセラーを配置しているほか、スクールソーシャルワーカーを中学校区毎に派遣しており、今後は、新たに学校間の「連携ケース会議」を実践していく。
10	基本方針3 方向性②	小1プロブレムは、幼児教育の多様なあり方とそこで育つ資質・能力を幼児期の終わり前に育てほしい姿の共有から小学校を始めて、低学年教育を幼児教育の即したところから教科教育へと進め、横断的なあり方や読書指導を強化しつつ、教科教育の充実を深い学びへと向けることが肝心となる。	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  幼児期における遊びを通じた総合的な学びから中学年以降の教科教育との円滑な接続が図れるよう、低学年の教科横断的な学習の在り方や幼小の円滑な接続について研究を進めるとともに、地区別の接続研修会等において事例を紹介するなど幼小接続を推進している。

番号	項目	意見の概要	対応状況
11	基本方針5 方向性①	「生涯学習」や「ふるさとの学び」など、それぞれの人がそれぞれにマッチする場で、講師、文化的指導、スーパーバイザーといったかたちで活躍できるような富山県発の人材育成・雇用に関わる「しくみ」ができるものとする。	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  県民生涯学習カレッジでは、公募によるボランティア講師が運営する「自遊塾」を開催している。県民自らが生涯学習に関する講座を企画し教えることで、多様な学習機会が広がっており、共に学び合う交流の場となっている。
12	基本方針5 方向性③	生涯学習について、学び直した転職などを積極的に推進する。そのために、学ぶ機会を増やし、また、広報し(放送大学等)、その学習への経済的その他の援助を行う。さらに再就職などへの援助としての報償を用意する、援助の体制を強化する。  主婦などの再就職への援助や高齢者の援助が必要。	<u>大綱（案）に記載（P41）</u>  「大学等における社会人受入れなどのリカレント教育や、専修学校等が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育など県民ニーズに対応した多様な教育の充実に努めます。」  <u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>
13	基本方針7 方向性② 基本方針8 方向性②	学校の部活動・クラブ活動のかなりが社会へと移ることが予想されるので、その整備が必要である。さらに自主的な活動や地域活動が増えた。ネットを介しての活動(例えばYouTubeでの発信)も増えつつある。そこの拡大を支える。	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  令和2年度は、YouTubeを活用したオンライン研修会を実施しており、今後もネット環境を活用したスポーツ・芸術文化活動への支援環境の整備について検討する。
14	基本方針8 方向性②	運動能力や運動への好みは乳幼児期から、かなりの個人差があることが分かってきた。そこでの運動が好きになること、スポーツ以前の運動遊びが重要である。	<u>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</u>  運動好きな子どもの育成や運動習慣の定着を図るため、専門的な技術指導力をもつ地域人材等を派遣した研修等を実施する「とやま元気っ子スポーツライフサポート事業」を実施している。

番号	項目	意見の概要	対応状況
15	基本方針 8 方向性③	トップアスリートの指導は小学校あたりから優秀な子どもを学校の外で集めての指導が不可欠である。	<p><b>来年度策定する教育振興基本計画（主な取組み等）への記載を検討</b></p> <p>将来のスポーツ界を担う人材の育成をサポートする「未来のアスリート発掘事業」実施している。</p> <p>各競技団体が、競技スポーツ振興事業として小学生を対象としたスポーツ教室を開催し、選手の育成・強化に努めている。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ等が主催するスポーツ教室やスポーツ体験会、イベント等へオリンピックや日本代表選手等を派遣し、実技指導や講演等をすでに実施している。</p> <p>今後も広く周知しながら、事業を継続して推進していく。</p>